

科目名	金剛禅教義			担当教員	坂下 充
単位数	1 単位	レポート数	2	スクーリング時間数	5
科目概要	金剛禅とは何かを学ぶことがこの科目の目的です。金剛禅の理解を深めるためにも、開基にいたる開祖(宗 道臣)の志からダーマの意義、そして修行の体系まで幅広く学習します。とくに開祖の語られた言葉の奥にある人や社会に対する思いや願いを感じとることが、金剛禅の理解にとっては欠かせない学習となります。また、霊止(ひと)としての人間の尊厳や可能性を人類レベルで開花結実させることにより、平和で豊かな社会と人生の実現を目指すという運動としての金剛禅、また運動体としての教団についても学習します。				
到達目標	・ 金剛禅が開基された経緯とその目的を理解する。 ・ 少林寺拳法が教化育成の手段として在ることの意味とその意義を理解する。 ・ 金剛禅がダーマ信仰をベースとする調和の思想であることを理解する。 ・ 自己確立や自他共楽、ダーマや釈尊や達磨など、金剛禅として学んだことの内容を、つながりのある教義の体系として理解できるようにする。				
学習アドバイス	専門用語で語られることの多い教義ですが、タテマエやただの理想論にならないよう、より実感のある身近な現象や体験をもとに理解を進めてください。大切なのは自分なりの言葉や展開でわかりやすく現代に生きる金剛禅が語れるようになることです。 なお、教材の『がんばれ仏教!』は、金剛禅と直接は関係ありませんが、現代社会にどう仏教を生かすか、堕したと言われる仏教のもつ可能性を期待の視線で見つめています。金剛禅と既成仏教を同列には語れませんが、これからの金剛禅の道院や布教、社会とのかかわりを考えるための参考となります。				
学習教材	配布教材 … 『「金剛禅」学習資料』『がんばれ仏教!』 指定教材 … 『少林寺拳法教範』 宗 道臣／金剛禅総本山少林寺(非売品) 『「強さ」とは何か。』 文春新書 860／文芸春秋 (720円＋税) 『金剛禅読本』 金剛禅総本山少林寺／950円(税込) 『僧階教本／宗論 3 金剛禅教学原論』 金剛禅総本山少林寺 (非売品)				
テーマ番号	レポート・テーマと留意点(順不問)				
4-A	テーマ	金剛禅における「ダーマ」「釈尊」「達磨」の関係			
	留意点	教義上におけるダーマと釈尊と達磨の関係性、つまり釈尊の正しい教えをもとに、ダーマを信仰し達磨を本尊とする金剛禅の在り方とそれぞれの説明について簡潔にまとめること。			
4-B	テーマ	ダーマが金剛禅の信仰の中心であることの意味			
	留意点	なぜ金剛禅ではダーマが信仰の対象なのか。金剛禅が目指す人や社会の在り方とはどのようなもので、その実現に必要なものがダーマ信仰によりどう育まれるのかという観点でまとめること。			